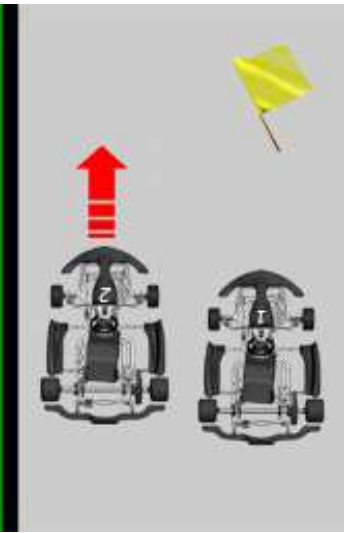


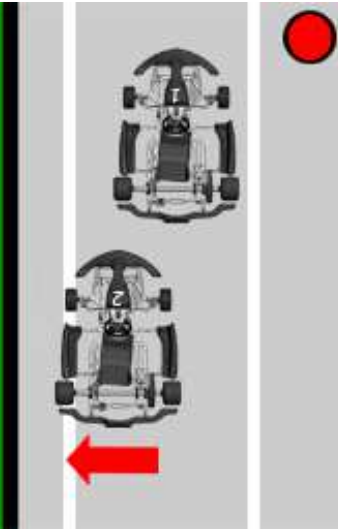
NEW TOKYO CIRCUIT 2022 Penalty Catalog

反則行為	解説	図解	ペナルティ判断
<p>R01</p> <p>フラッグ無視</p>	<p>コースオフィシャルや競技委員から提示された旗に従わないことをフラッグ無視とします。これは旗の種類、従わなかった理由、利益を得たか否かにかかわらず適用されます。注)ドライバーは、必ずドライバーサインを出さなくてはなりません</p> <p>一般的な違反は以下の通りです</p> <ol style="list-style-type: none"> 1, 黄旗区間での前車追い越しや減速せずに追い越しをかける行為 2, オレンジボール旗、黒旗、他の旗等の提示を無視し、レースを続ける行為 3, 青旗の振動に対しラインを譲らない行為 4, 白黒旗の提示を受けても、その警告行為を直さない場合 5, 白地に赤×ボード無視や、青赤旗の無視等の行為 6, その他 <p>※黄旗区間で減速をせず、追い越し行為の他に危険走行をし、接触事故などの原因を発生させた場合、当該ヒート失格またはレース除外になる場合があります</p> <p>※イエローコーション開始の合図や黄旗、その他の指示旗や提示ボードを無視した場合や減速違反も対象です。</p> <p>※イエローからグリーン制導入の場合、グリーンフラッグ手前から追い越しや追い越しをかける行為の場合、イエロー無視と同様のペナルティ対象となります。</p>		<p>旗無視；警告または旗の提示を無視しレースを継続した場合；失格</p> <p>公式練習中のフラッグ無視の場合、TT成績に対し、0.25~1秒加算</p> <p>タイムトライアル中の違反に対しては、成績に0.25~1秒加算または、ベストタイム(1~3)成績の抹消の場合</p> <p>黄旗区間での追い越し、追い越しをかける行為</p> <p>3~30秒加算 または、1~10ポジションダウン または1周減算</p>
<p>R02</p> <p>白黒旗</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1,ローリング隊列を乱すような行為には積極的に白黒旗が提示されます。その対象者はスタート後の白黒旗と累積になることはありませんが、スタート後に白黒旗を受けるような行為を2回繰り返した場合、黒旗が提示され競技長の元に出頭し確認後に競技裁定となります。また、白黒旗は他のヒートにまたがって累積することはありません。 2,危険な行為、事故を招くような行為には積極的に白黒旗が提示されます。再度、その行為が繰り返された場合、白黒旗が累積2回となり黒旗が提示され、対象者は競技長の元に出頭し確認後に競技裁定となります。白黒旗は他のヒートにまたがって累積することはありません。 <p>※白黒旗を提示する前にペナルティボードで警告をする場合があります。プッシングボード、幅寄せボード、その他をゼッケンと一緒に提示します。</p>		<p>白黒旗、1回目は警告</p> <p>同一ヒート累積2回目はヒート失格の場合あり。</p> <p>ただし、スタートを切る前の白黒旗は累積にカウントしません。</p>

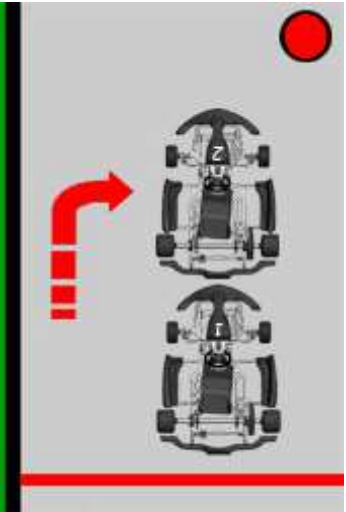
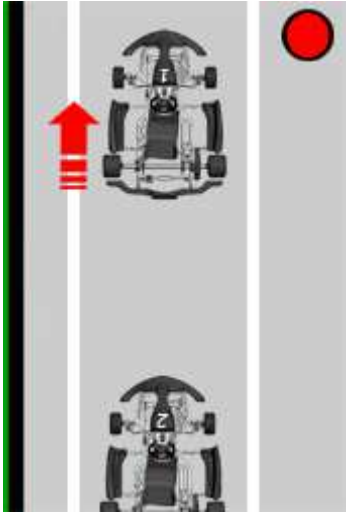
NEW TOKYO CIRCUIT 2022 Penalty Catalog

反則行為	解説	図解	ペナルティ判断
R03 チェッカー旗 および ダブルチェッカー	1,チェッカー旗を受けたが安全なスピードまで落とさない場合や前車を追い越した場合 2,チェッカー旗を受けレース終了となったにもかかわらず、再度、コントロールラインを通過しチェッカー旗を2回受けた場合 3,チェッカー旗を受けたあと減速せずにスピンやコースアウト等をし、レースの進行を遅らせた場合		前車追い越し、スピードを落とさない行為やダブルチェッカーは嚴重警告 または 0.25~10 秒加算 タイムトライアル時は、ベストタイム抹消
R04 車両違反 および 服装違反	車両規定に定められた全ての部品装着していなかった場合や脱落した場合、また、下記のような案件の場合を車両違反とします。レース前、レース中、レース後、発生する時期は問いません。同様に利益が有るか無いかも問いません。ヒート後の車検時の状態を判断の基準とします。 一般的な違反は以下のものです 1,規定重量不足や各ヒート後に車検を受けなかった場合、当該ヒート NG となります 2,車両の改造や違反加工、間違った寸法や違反部品の使用等 3,規定外燃料の使用、指定外オイルの使用、クーラント使用、その他… 4,タイヤローテーション違反(RMC)、タイヤへの加工、薬品の塗布など 5,エンジンやキャブ、その他の車両構成部品に指定されている部品、品番指定部品、指定寸法以外の組付け状態で、競技に参加し使用している場合 6,オレンジボール旗の対象になる不具合や装備品の脱落が発生し、車両を修復出来ない状態でレースを終えた場合（車検委員判断の場合もあり） 7,ドライバーの安全装備の不具合や脱落 8,吸気、排気装置のトラブルや脱落があってもレースを止めなかった場合 ※この場合、安全上問題があると判断した場合その限りではありません。競技長の判断で競技から排除する場合があります		車両不具合、部品脱落、安全装備違反等は成績に 0.25~60 秒加算 公式練習中のタイヤローテーション、その他の違反はタイムトライアル成績にタイム加算あり または、1~10 ポジションダウン または、規則書に準じたヒート失格 ※吸気、排気装置のトラブルや脱落があり競技を止めた場合は競技 DNF 安全上問題があると判断した⇒オレンジボール旗の提示もありうる ※競技を止めない場合、黒旗にて競技裁定

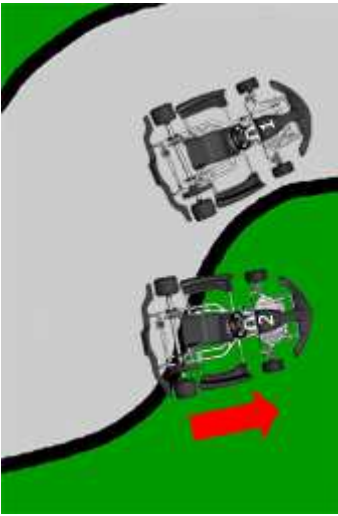
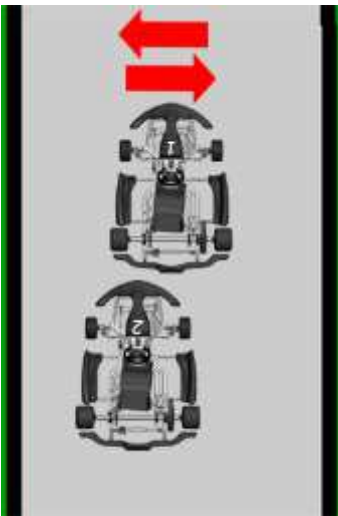
NEW TOKYO CIRCUIT 2022 Penalty Catalog

反則行為	解説	図解	ペナルティ判断
<p>R05</p> <p>ローリング隊列違反</p> <p>および</p> <p>ヒーティング行為</p>	<p>ローリング隊列のスピードを著しく乱す行為やローリング中の隊列を守れない走行、他車と接触しそうな激しいヒーティング行為やプッシング等によって競技進行を遅延させた場合。公式練習、タイムトライアル、その後の各ヒートに適用されます。</p> <p>先頭の左右2台は隊列を守りスピードを整える義務があります。 PACE DOWN ボードや PACE KEEP ボードを確認しなくてはなりません。 この義務を怠った場合ペナルティの対象となります。</p> <p>注 1)ヒーティング行為のペナルティは 2 列の隊列を形成したあと、指定された箇所から先でヒーティング行為をした場合対象となります。2 列になる前のウオームアップ走行中のヒーティング行為は認めますが、安全性確保が条件となり、他車の妨害や危険と判断される走行行為に対してはペナルティが課せられます。</p> <p>注 2)公式練習やタイムトライアル、イエローコーション中も対象です。</p>		<p>軽度⇒警告や白黒旗提示</p> <p>悪質な場合 赤旗後に最後列へポジションダウン</p> <p>または、成績に、0.25～10 秒加算</p> <p>または、1～10 ポジションダウン</p>
<p>R06</p> <p>スタート隊列違反 (コリドー違反)</p> <p>および</p> <p>スタートディレイの赤旗起因</p>	<p>スタート合図が出る前、2 番のカートのように隊列から横に出て、コリドーラインからタイヤがはみ出しながら追い抜き行為を早く始めることをスタート隊列違反(コリドー違反)とします。 ※コリドーラインの右側でも左側でも違反は同じです。 またスタートが切られるタイミングを計り、ポールポジションよりいち早く 2 番手やその他の順位選手が早めにスタートを切る行為もペナルティとなります。 スタートライン手前の 25m ラインを超え加速が許可され、シグナルがブラックアウトしたと同時にコリドーラインを超え追い抜きのためスピードアップすることは認められます。 ※後方の隊列は 25m ラインを越えなくてもスタート合図と同時に、コリドーラインを超え加速、追い抜きが認められます。</p> <p>危険回避として、25m ライン通過後、前方のカートが失速(前々車との間隔が 1 台以上開く場合)した場合、前車との衝突を避けるためコリドーラインからはみ出す行為や車両トラブルで速度が上がらないカートを追いつく行為は認められます。</p> <p>『赤旗起因』スタート前のローリング隊列走行中、単なるドライバーの運転ミスや車両トラブルによって競技を継続できないような原因を発生させ、赤旗によってスタートを遅延させた場合、その対象ドライバーは再スタートの際、最後列に下がる場合があります。</p> <p>また、<u>対象ドライバーが複数の場合</u>、基本的にスタート順はゼッケンナンバー順とします。(変更の場合あり)</p>		<p>軽度⇒警告や白黒旗提示</p> <p>2 輪以上がコリドー白線を超えはみ出した場合 ⇒3 秒加算</p> <p>4 輪以上がコリドー白線を超えはみ出した場合 ⇒10 秒加算</p> <p>悪質な場合ヒート失格 または 1～10 ポジションダウン</p> <p>赤旗起因車両は、その状況によって審議され、対象台数によっては、アウト・インが入れ替わる場合もあります</p>

NEW TOKYO CIRCUIT 2022 Penalty Catalog

反則行為	解説	図解	ペナルティ判断
<p>R07</p> <p>ポジション復帰禁止エリアでの復帰</p>	<p>ローリング走行中、ポジション復帰禁止エリア(コース図に指定箇所表示あり)を示すラインを越えてから、2番のカートのようにローリング中のカートを追抜き、自分のポジション復帰した場合。</p> <p>※ドライバーマナーとして元のポジションに戻る場合には、しっかり手を上げ、他車にアピールし安全に復帰することを心がけてください。 強引に入り込んだり、隊列を大きく乱したり、接触事故を招いた場合、危険行為と判断されます。また、ポジションを空けない行為はペナルティの対象とします。</p> <p>注意;前方のカートが車両トラブルで加速出来ないと判断した場合、その車両を抜いてもペナルティにはなりません。</p> <p><ローリングの隊列に大きく遅れた場合> 対象ドライバーに白地に赤 X 印のポジションボードとゼッケンナンバーを提示します。 提示されたドライバーはローリングの最後尾へ付かなければなりません ミススタートによる再スタートの場合でも、ポジションを戻すことは出来ません。</p>		<p>基本ヒート失格</p> <p>または、成績に1~10秒加算</p> <p>または、1~10ポジションダウン</p>
<p>R08</p> <p>ジャンプスタート および イエローコーション(ニュートラリゼーション)解除後の再スタート違反</p>	<p>下記項目をジャンプスタートとします。</p> <p>1,スタートが切られる直前に1番のカートがアクセルを大きく踏みこみ1番のカートと2番のカートの間にカート1台分以上間隔が開くような行為や2番のカートが前車との間に大きなギャップを空ける行為の場合</p> <p>2,リタイヤ等によって前方のカートがいない場合の空席グリッドが確保されず、グリッド位置が前方につめられている場合</p> <p>3,スタートする前に自発的にスタートポジションを上げた場合</p> <p>4,イエローコーション解除後、再開を指示するグリーンフラッグは、コントロールライン横のメインポストで振られます。競技再開後の追い越しは、コントロールライン通過後となり、ライン手前で追い越しをした場合、再スタート違反ペナルティとなります。</p> <p>※1番のカートが元の位置に戻った場合やスタートが切られなかった場合は、ジャンプスタートとみなしませんが警告が指示される場合があります。</p>		<p>軽度⇒警告や白黒旗提示</p> <p>または、成績に1~10秒加算</p> <p>または、1~10ポジションダウン</p>

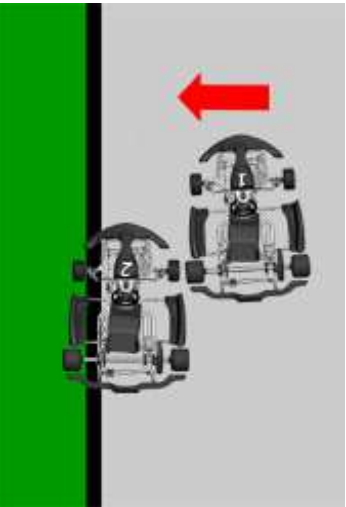
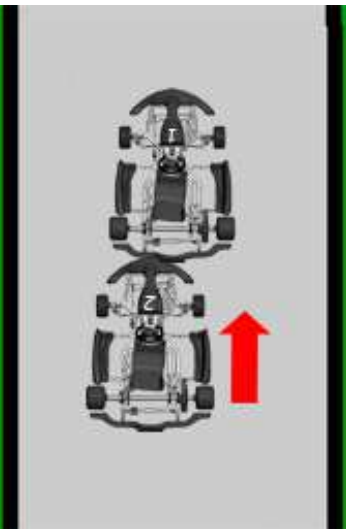
NEW TOKYO CIRCUIT 2022 Penalty Catalog

反則行為	解説	図解	ペナルティ判断
R09 ショートカット	<p>2番のカートのようにコースから完全に外れ、走行距離が短くなった場所から再びコースに復帰することをショートカットとします。</p> <p>ペナルティの判断</p> <p>1,2番のカートが順位を上げるか、その周回タイムが明らかに速かった場合</p> <p>2,1番のカートまたは、その他のカートが2番のカートが復帰することで被害を被った場合</p> <p>3,1番のカートまたは、その他のカートが2番のカートが復帰することで順位を下げたり、リタイアした場合</p> <p>※停止しているカートやトラブルで失速したカートとの接触を避ける場合はこの限りではありません。</p>		<p>軽度⇒警告や白黒旗提示</p> <p>悪質な場合ヒート失格</p> <p>他の違反行為と重複した場合等はレース除外あり</p> <p>または、成績に、0.25～10秒加算</p> <p>または、1～10ポジションダウン</p>
R10 ジグザグ行為 およびブロック行為 および レーンチェンジ行為	<p>1番のカートのように直線部分でカートの幅以上に左右に蛇行することをジグザグ行為とします。</p> <p>2番のカートから1番のカートが離れている場合や2番のカートが追い抜くことが出来たとしても適用されます。</p> <p>ペナルティの判断</p> <p>1, 後方にあるカートの位置を確認し、わざと走行ラインをずらし蛇行することをジグザグ走行といい、故意に進路変更する行為は審議されます。</p> <p>2, ブロック走行行為により、競技が成り立たないと判断された場合に審議されます。競技委員によって、スポーツマンシップに反する行為か否かをジャッジします。</p> <p>3, 競技中のコーナー進入時や立ち上がり、直線で意図的に走行レーンを変え、後方カートの進路を妨害する走行を一般的にレーンチェンジと言い、レース中の悪質な走路妨害をブロック行為として審議されます。</p> <p>※イエローコーション中も適用されます。</p>		<p>軽度⇒警告や白黒旗提示</p> <p>悪質な場合ヒート失格</p> <p>他の違反行為と重複した場合等はレース除外あり</p> <p>または、成績に、0.25～10秒加算</p> <p>または、1～10ポジションダウン</p>

NEW TOKYO CIRCUIT 2022 Penalty Catalog

反則行為	解説	図解	ペナルティ判断
<p>R11</p> <p>カットイン コーナリング時の 走路妨害</p>	<p>1番のカートが2番のkartの進路を妨害するようにコーナー内側に進路を変更することをカットインとします。これは双方のkartが接触したか否かは関係ありません。</p> <p>2番のkartが1番のkartの少なくとも1/3以上(2番の前輪が1番の後輪より前)の位置にいた場合に判断されます。</p> <p>ペナルティの判断</p> <p>1番のkartがカットインの行為をした場合 2番のkartが順位を落とすか、またはリタイアした場合 2番のkartがダメージを受け、同一ラップ中に順位を落とすかリタイアした場合</p> <p>※1番のkartが2番のkartの走行ラインを残し走行する場合はカットインと判断されません。ただし、2番のkartが減速せず無理な突っ込みをした場合は審議対象です。</p>		<p>軽度⇒警告や白黒旗提示</p> <p>悪質な場合ヒート失格</p> <p>他の違反行為と重複した場合等はレース除外あり</p> <p>または、成績に、0.25～10秒加算</p> <p>または、1～10ポジションダウン</p>
<p>R12</p> <p>エッジイン 無理な突っ込み</p>	<p>2番のkartが走行ラインに十分なスペースがないのに、1番のkartの内側に入って強引に抜きに行くことをエッジインとします。またスピードを調整することなく、車両をコントロール出来ないような速度で突っ込む場合は悪質とみなし重いペナルティとなります。</p> <p>例 1、:スタート時の混雑からの無理やりなライン取り、強引な追抜きの場合など 例 2、:適正な減速をすることなく、無理な突っ込みをし、他車と接触する行為 ※順位変動があれば審議にて判断します</p> <p>2番のkartの多くの部分が1番のkartの内側にいる場合、または2番のkartが接触を回避するために部分的にコース外にいる場合は問題ありません。</p> <p>ペナルティの判断</p> <p>2番のkartがエッジインの行為をした場合 2番のkartが順位を上げた場合 1番のkartが順位を落とすか、またはリタイアした場合 1番のkartがダメージを受け、同一ラップ中に順位を落とすか、リタイアした場合等</p>		<p>軽度⇒警告や白黒旗提示</p> <p>悪質な場合ヒート失格</p> <p>他の違反行為と重複した場合等はレース除外あり</p> <p>または、成績に、0.25～10秒加算</p> <p>または、1～10ポジションダウン</p>

NEW TOKYO CIRCUIT 2022 Penalty Catalog

反則行為	解説	図解	ペナルティ判断
<p>R13</p> <p>プッシュアウト 幅寄せ</p>	<p>1番のカートがラインを変更して2番の車を完全または部分的にコース外に追いやることをプッシュアウトおよび幅寄せとします。 これは双方の車が接触したか否かは関係ありません。 2番の車が1番の車の少なくとも1/3以上(2番の前輪が1番の後輪より前)の位置にいた場合に判断されます。</p> <p>ペナルティの判断 1番の車がプッシュアウトの行為をした場合 1番の車が順位を上げたとき 2番の車が順位を落とすか、またはリタイアした場合 2番の車がダメージを受け同一ラップ中に順位を落とすか、またはリタイアした場合 1番の車が危険行為と判断された場合 ※1番の車が2番の車の走行ライン(車体1台分が基準)を残し走行する場合はプッシュアウトと判断されません。</p>		<p>軽度⇒警告や白黒旗提示 または、ゼッケンと幅寄せボード提示</p> <p>悪質な場合ヒート失格</p> <p>他の違反行為と重複した場合等はレース除外あり</p> <p>または、成績に、0.25～10秒加算</p> <p>または、1～10ポジションダウン</p>
<p>R14</p> <p>プッシング 後方からの接触</p>	<p>2番の車のフロント部分が1番の車のリア部分に接触することをプッシングとします。また、ストレート走行中やコーナリング中に前車を押し出す行為についても同様とします。下記「ペナルティの判断」を考慮した結果、2番の車が利益を得ない場合でも危険行為と判断された場合はペナルティの対象となります。</p> <p><対象となりやすいエリア> コーナーへの進入区間、旋回区間などの後方からの接触が危険なエリア</p> <p>ペナルティの判断 2番の車がプッシングの行為をした場合 2番の車が順位を上げた場合 1番の車が順位を落とすか、またはリタイアした場合 1番の車がダメージを受け同一周回中に順位を落とすかリタイアした場合 2番の車が危険行為と判断された場合</p> <p>※ローリング走行時の低速走行、タイムトライアル時もすべて対象です。 ※1番の車が失速などによって起因した後部からの接触はプッシングと判断しない場合があります。</p>		<p>軽度⇒警告や白黒旗提示 または、ゼッケンとプッシングボード提示</p> <p>悪質な場合ヒート失格</p> <p>他の違反行為と重複した場合等はレース除外あり</p> <p>または、成績に、0.25～10秒加算</p> <p>または、1～10ポジションダウン</p>

NEW TOKYO CIRCUIT 2022 Penalty Catalog

反則行為	解説		ペナルティ判断
R15 危険行為	下記項目を 危険行為 とします。 1,減速をせず無理な進入速度で走行し多重クラッシュを招く行為 ※順位変動問わず 2,走行ラインを残さず危険なブロックによって相手をつぶす行為 3,コース上に停止してしまいその後の対処に関してコースオフィシャルの指示に従わない場合 4,停止後にコース復帰する場合、後続車がいるにも関わらずドライバーサインも出さずに後続車通過前に再スタートした場合 5,事故停止カートやコースアウトしたカートを放置し障害物とさせる行為 6,コース上から競技中にコースを横断したり、他者に物を投げる行為 7,コースを逆走し事故を招く行為		軽度⇒警告や白黒旗提示 悪質な場合ヒート失格 他の違反行為と重複した場合等はレース除外あり または、成績に、0.25～10秒加算 または、1～10ポジションダウン
R16 ピットエリア違反行為 および ピットロード違反行為	下記項目をピットエリア、ピットロードでの 違反行為 とします。 1,ピットエリアに入るため、ピットロードを走行中に減速しなかった場合、ピットロード徐行違反と判断されます 2,ピットエリアに向かったが、エンジン停止をせずにコースに復帰した場合、ピットスルー危険行為と判断されます 3,指定ピットエリア外で作業したり、危険物を持ち込んだり、競技委員の注意を無視した行為、サインエリア外でのドライバー合図など、多くの場合がピットエリア違反行為と判断されます 4,ピットエリアからの再スタート時、押しがけサポート区間を過ぎても登録ピットクルーがサポートを継続した場合		軽度⇒警告 悪質な場合ヒート失格 他の違反行為と重複した場合等はレース除外あり または、成績に、0.25～10秒加算 または、1～10ポジションダウン

NEW TOKYO CIRCUIT 2022 Penalty Catalog

反則行為	解説		ペナルティ判断
R17 ダミーグリッド違反行為	<p>下記項目の場合、ダミーグリッド違反行為とします。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1,ダミーグリッドに入ったあと工具を用いた車両整備を行った場合 2,指定した時間内にダミーグリッドに入らなかった場合 3,本コース上でスタートを待つ間、工具を用いた車両整備を行った場合 4,赤旗中断後、競技委員から指示が出る前に工具を用いた車両整備を行った場合やケミカル用品を使用したり、給油を行った場合 5,レース終了後、検査を受ける前に不良箇所を修正した場合 6,ダミーグリッドからのスタート時、押しがけサポート区間を過ぎても登録ピットクルーがサポートを継続した場合 	<p>※左記事項は、登録メカニックが行った行為でも、ドライバーに対しペナルティが課せられます。</p>	<p>基本当該ヒート失格</p> <p>または、成績に、0.25～10秒加算</p> <p>または、1～10ポジションダウンの場合もあり</p> <p>他の違反行為と重複した場合等はレース除外あり</p>
R18 パドック、ピットでの暖気運転、エンジンから吹かし違反行為	<p>下記項目をパドック・ピット内で行なった場合、違反行為とします。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1,パドック内、ピット内や指定外の場所で暖気運転やエンジンから吹かしを行なった場合違反と判断されます 2,ドライバー、ピットクルー、メカニック、参加選手の関係者等、誰でも違反行為をすれば、その参加選手にペナルティが与えられます 3,違反行為が公式練習前に発覚した場合、次ヒートにペナルティが適用されます 次ヒートとはタイムトライアルの成績が対象です 		<p>軽度⇒警告 悪質な場合ヒート失格 他の違反行為と重複した場合等はレース除外あり または、成績に、0.25～10秒加算 公式練習中に発生した違反行為の場合は、タイムトライアルの成績にタイム加算されます</p>
R19 車載カメラに関する違反行為	<p>下記項目の場合、車載カメラ違反行為とします。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1,指定の申請用紙を提出せずレースに参加し走行した場合 2,レース中、取り付け不具合によって車載カメラが脱落した場合 3,その他の事項は特別規則書に準じます 		<p>ヒート失格</p> <p>申請用紙を提出したが指定外箇所に取り付けおよび接触事故等によってカメラ脱落した場合は審議対象 ※警告の場合あり</p>

NEW TOKYO CIRCUIT 2022 Penalty Catalog

反則行為	解説		ペナルティ判断
R20 その他の競技違反	1,公式練習に参加する意思がなかった場合、当該競技除外とします 2,競技委員に申告せず、無断で計測装置やエンジンを変更した場合 3,ピット・パドックで火気を扱ったり、喫煙した場合 ※基本、火器の使用は禁止ですが主催者に確認し認められる暖房器具の場合は問題ありません。喫煙場所以外、特にパドックでの歩きタバコや整備中のくわえタバコが発覚した場合、その対象ドライバー、ピットクルー、メカニックに1回目は警告、2度目の行為が発覚した場合はペナルティが入ります 4,ドライバーズブリーフィング(ミーティング)を不参加した場合は罰金 5,黄旗区間やその直前に、速度を落とさず前方のカートとのギャップをつめる行為 6,黄旗が出ようとしているコース状態にもかかわらず、追い抜きをかける行為 7,競技中、許可なく給油した場合「ダミーグリッド、ピットエリア、他」 8,タイヤを器具や暖房機によって故意に温める行為 9,チームやドライバー間で、順位を故意にコントロールする悪質な行為 10,レース本規則や追加公式規則に関する事項を守らなかった場合 11,新規の競技違反項目や公式通知に関する事項を守らなかった場合		軽度⇒警告 悪質な場合は競技失格や競技施設からの退去指示 または、成績に、0.25～10秒加算 または、1～10ポジションダウン ※罰金は1万円 レース中に許可なく給油した場合、当該ヒートの出走を認めない、または当該ヒート失格 タイヤを故意に温めた場合、 1,公式練習前⇒タイムトライアルの成績抹消 2,各ヒート前⇒当該ヒートの出走を認めない
R21 ドライバーモラル 暴力行為等	1,ドライバーサインを出さない場合 2,競技役員、コース委員・オフィシャルからの指示を無視した場合 3,走行中に、競技相手を挑発したり威嚇する行為をした場合 4,競技会場での言葉による脅しや侮辱、中傷、威圧、暴力行為をした場合		軽度⇒警告 悪質な場合は競技失格や競技施設からの退去指示 または、成績に、0.25～10秒加算 または、1～10ポジションダウン

NEW TOKYO CIRCUIT 2022 Penalty Catalog

反則行為	解説		ペナルティ判断
R21 ドライバーモラル 暴力行為等	5,パドックでの常識外の場所取りや禁止区画への車輛の乗り入れ 6,競技の裁定や運営に対し、理由も聞かず競技関係者に怒鳴り込んできたり、威圧したり、暴言を吐くドライバーやエントラント、メカニックの行為 7,競技規則を読まない、理解しないで競技委員にクレームを入れる行為 8,工具やケミカル用品を持って走行した場合		軽度⇒警告 悪質な場合は競技失格や競技施設からの退去指示 または、成績に、0.25～10秒加算 または、1～10ポジションダウン
R22 走路妨害	公式練習やタイムトライアル中、自分の位置取りのため、走行ライン上でドライバーサインを出さず減速や加速行為、走行ライン交差を繰り返す危険な走行をし、後方からの衝突を招く行為に対し審議されます。 また、すでにタイムアタック走行に入っているカートの走路妨害行為や接触行為、危険と判断される走行は厳しく審議されます。		軽度⇒警告 タイムトライアル中の違反に対しては、成績に0.25～1秒加算または、ベストタイム(1～3)成績の抹消の場合もあり
R23 フロントフェアリングペナルティ	指定装着のフロントフェアリングが接触やその他の理由によって正規な位置よりずれた場合、理由にかかわらず規定のタイム加算ペナルティとなります。 また、起因の内容によっては追加のタイム加算ペナルティが入ります。 ※フェアリング本体への加工、改造なども含みます(車検長判断となります) 詳細に関しては、特別規則書や公式通知を参照してください。		1, タイムトライアル中の違反に対しては、成績に0.25～1秒加算または、ベストタイム(1～3)成績の抹消の場合もあり 2, 通常違反に対して、成績に5秒加算 3, 追加違反に対して、成績に1秒～10秒加算 4, 当該ヒート失格もあり

NEW TOKYO CIRCUIT 2022 Penalty Catalog

R24 ジャンプスタート ※スタンディングスタート時の場合	スタンディングスタートの場合、スタート合図より早くスタートすることを ジャンプスタート （ フライングスタート とも言う）とします。 スタート合図のシグナルがブラックアウトする前に、スタートを始める行為に適用されます。審議されレース後の成績に対しペナルティとなります。	映像判定とします	軽度⇒警告 または、成績に、0.25～10秒加算か 1～10ポジションダウン
R25 トラックリミット 4輪脱輪走行	コース両脇に引かれたホワイトラインから、4輪をはみ出して走行する行為を 走路外走行 とし、 トラックリミット として判定いたします。 1, 走路外走行によりタイムを上げる行為 2, 走路外走行によって順位を上げる行為 いずれも映像判定によって審議されます。 ※RMCシリーズに適用されます。		1, タイムトライアル中の違反に対しては、ベストタイム成績の抹消 再度繰り返す場合はサードベストタイムまで抹消 2, 意図的にコース外を走行した場合1回目は警告（ボードと白黒旗運用） 3, 同一日に2回目コース外走行の場合、成績に対し5秒加算
抗議	競技判定に関する抗議は、ヒート終了後30分以内までとします		抗議料 ￥22,000-
R1 から R25 までのペナルティジャッジは目安ですので、記載されていない行為でも大会競技審査委員やスチュワード・ジャッジによる審議の判定によりペナルティとなる場合があります。また、競技役員やレース大会の格式によって表記のペナルティとは違う判定の場合もあります。 【判定は複数名の競技委員の審議によって決定し、リザルトに反映されます】 <p style="text-align: right;">「2022年3月9日 作成」</p> ※1、レース競技状況によりペナルティの判定が遅れ、ヒート終了直後にリザルトを発表出来ない場合があります。 ※2、暫定結果から正式結果を決定する際、ペナルティの判定等によって成績が変動する場合があります。 ペナルティーカタログ作成の主旨 競技の安全と参加者の信頼を得る運営進行を最優先と考え、ドライバー・エンタラント、主催者・オフィシャルすべてがスポーツマンシップを持ち、本大会へ挑む事がポリシーと考えています。大会に関連する参加者すべてのマナー向上と安全で公平なレース運営を目指します。			